

### 3 多様な公共料金等支払手段の整備

<b>現状と課題</b>	<p>保育所保育料、水道料金等の公共料金については、従前より、口座振替をはじめ、クレジットカード、コンビニ収納等、利便性を考慮した複数の方法による支払手段の多様化を図っているところである。</p> <p>今後は、キャッシュレス化の広がりを踏まえ、公共料金や市民利用施設（集客施設等）利用料金及び使用料（以下、「公共料金等」という。）、それぞれの特性にあわせて、市民の利便性向上を図っていく必要がある。</p>
<b>戦略</b>	<p>これまで「市政改革プラン 2.0」において、多様な納税環境の整備に努め、成果を上げてきたが、今後、<u>公共料金等</u>についても多様な支払手段の整備の取組をめざす。</p>
<b>取組内容</b>	<p>①多様な公共料金等支払手段の整備</p> <p>公共料金等それぞれの支払手段の現状から、特性や収納状況を踏まえ、ICT<sup>56</sup>等も活用しながら、これまで以上に多様な公共料金等支払手段の整備に向けた取組を進める。</p>
<b>めざすべき状態</b>	<p>市民が様々な支払手段を選択・活用でき、利便性の向上が図られるとともに、未納を防止し、収納率が向上した状態。</p>
<b>目標</b>	<p>【3年度まで】 〈当初〉 2年度 各年度の目標を含む実施計画を策定 3年度以降 上記実施計画に定めた目標に順次取り組む 〈実績〉 2年度 「多様な公共料金支払手段の整備」実施計画【2021（令和3）年2月現在】を策定 3年度 区役所附設会館（33施設）・クレオ大阪（4館）にコンビニ収納導入及び実施計画の更新</p> <p>-----</p> <p>【4年度以降】 4年度 実施計画に定めた目標に順次取り組むとともに実施計画を更新 30施設（屋内プール等）において整備を実施 5年度 実施計画に定めた目標に順次取り組む</p>

#### 取組スケジュール

	2年度	3年度	4年度	5年度
①	実施計画策定 実施準備 ----->————>	実施計画の更新 ----->	実施計画の更新 -----> 計画に基づき順次実施	>

(凡 例) 制度設計等： ----->

実施： —————>

<sup>56</sup> Information and Communication Technology の略。コンピュータやインターネットなどの情報通信技術のこと。